

ふるさと目黒の  
桜を後世に伝える

呑川本流緑道  
サクラ再生  
実行計画



サクラ再生  
実行計画HP

# 桜並木の景観を引き継ぎ、呑川本流緑道の風情を大切に

**品種の選定** 呑川本流緑道は土壌基盤が浅く、根の生長が制限されることから、ソメイヨシノよりもやや小型の品種で植替えを行います。

多様な品種で  
植替えた将来像



◆世田谷区境付近エリア

緑道の幅員が比較的に広いので、多様性のある風景とするとともに、開花の連続性に配慮し、同時期に開花するコシノヒガン、コヒガン、マメザクラ、オカメザクラ等により植替えを行います。

◆中央エリア

これまでの呑川本流緑道の風情を将来に引き継いでいくために、ソメイヨシノに似た雰囲気のコシノヒガンで植替えを行います。

◆中根小学校～第十一中学校付近エリア

狭い土壌基盤に適応できるコヒガンにより植替えを行います。

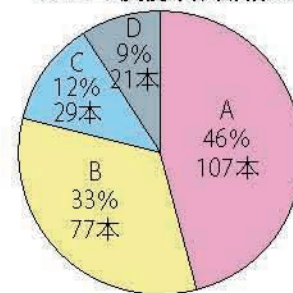


桜の写真提供：(公財)日本花の会

**桜並木の現状**

植栽後45年以上が経過し、全体的に生育があまりよくなく、樹勢が低下した桜が見られます。  
平成30年度に呑川本流緑道の桜234本について、樹木診断を行いました。全体の約8割は健全か健全に近いと判定され、すぐに植替える必要はありませんが、根や幹の材の腐朽や病害虫等の被害が見られ、樹勢が衰退傾向の桜もあります。

H30年度樹木診断結果



桜に発生したキノコ

A: 健全か健全に近い  
B: 注意すべき被害が見られる  
C: 著しい被害が見られる  
D: 不健全

**緑道の問題点**

呑川本流緑道は、呑川にコンクリート構造物による蓋掛けをし、その上に盛土をして造られた人工地盤上(ビルの屋上緑化と同じ構造で、大きな植栽鉢のような造り)の緑道です。このため、土壌が固まりやすく、乾燥し易い土壌となっています。また大型のソメイヨシノには、根の生育範囲が狭い状況となっています。



**検討会の様子**

桜並木の景観を将来にわたって引き継ぐため、平成30年度に検討会を3回開催して、地域の皆さまと将来像について検討しました。今後も皆さまとともに、呑川本流緑道の桜を将来にわたって守っていききたいと思っています。



呑川本流緑道  
サクラ再生  
実行計画

## 桜並木の再生に向けて

**保全**

現在の桜を健全に育てて、できる限り長く残していきます。

**施肥をします**

根の活力不足でやや弱っている木には、根の周りに穴を掘って固形肥料を施して活力を向上させます。

**定期的に剪定をします**

枝葉を伸ばすことのできる範囲が限られている街路では、生長する桜の樹形をコントロールする必要があるため、定期的に剪定をします。また、枯枝や衰弱した枝は、落枝する危険性があるため随時剪定をします。

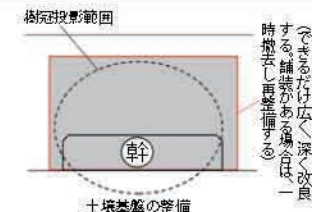


**更新**

桜を植える際に、健全な生育環境を整備します。

**土壌基盤を広くします**

将来の樹冠投影範囲となるようにできるだけ広い範囲に対し、深さはできるだけ深く、人工地盤までの深さを対象として整備します。



**土壌改良をします**

土壌基盤が浅く狭いため、乾燥し易いことから、抜根後、良質客土を投入し、保水性改良材(真珠岩系パーライトやヤシガラ等)を整備範囲に対して10～30%程度混合します。

**更新**

倒木の危険が生じた樹木については伐採し、周辺環境に合わせて植替えを行います。

**適切な植栽間隔を確保します**

現在、呑川本流緑道の桜は、4～5m程度の狭い間隔で植栽されている場所もあり、樹木同士が重なりあい樹勢に影響を及ぼしている状況です。伐採後は、すぐに同じ場所に補植せず、健全に桜が育つよう8～10mの間隔に調整し、植替えをします。



## 桜の品種紹介



### マメザクラ

桜の野生種の一つ。ソメイヨシノよりやや早く咲き、下向きに花が咲く。



### オカメザクラ

花はマメザクラに似ているが、淡紅色である。比較的上向きに枝が伸びる。



### コシノヒガン

花の雰囲気はソメイヨシノに似ていて、やや小型である。



### コヒガン

小型の品種。ソメイヨシノに似ていて、密生して花がつく。

### 桜の開花カレンダー

品種	開花期	3月
マメザクラ		■
オカメザクラ		■
コシノヒガン		■
コヒガン		■



さくらちゃん

桜の写真提供：(公財)日本花の会

## 桜守活動

桜守活動は、地域の方で地域の桜を守るボランティア活動のことです。桜並木を保全していくためには地域の皆さまの参加が大きな力になります。清掃活動や桜の計画的な観察、保全活動などの桜守活動を進め、地域の皆さまと呑川本流緑道の桜を後世に伝えていきます。

## 目黒のサクラ基金

サクラ基金はふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページをご覧ください。か、みどり土木政策課までお問い合わせください。

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakikin.html>



ふるさとチョイス HP

## 目黒のサクラ保全事業の流れ

# 1

### 樹木診断

樹木医による診断を行い、個々の桜の健康状態を把握します。倒木の危険がある桜については伐採を行い、安全確保を図ります。

# 2

### サクラ再生 実行計画の作成

桜の保護や植替えなどの将来像について地域の皆さまと検討を行い、地域にあったサクラ再生実行計画を作成します。

# 3

### 保全・更新

サクラ再生実行計画に基づき、桜の伐採や抜根、植替えを行います。また、弱っている桜を保護します。

お問い合わせ先

目黒区都市整備部みどり土木政策課施設計画係

〒153-8573 東京都目黒区上目黒 2-19-15 TEL.03-5722-9745 FAX.03-3792-2112